
地域スポーツマネジャー

1. 「地域スポーツマネジャー」とは

スポーツ経営学科では、育てる人材のイメージを「地域スポーツマネジャー」(以下、「CSM」という一つの形にまとめあげました。それは、地域においてスポーツイベントを企画・運営・実行できる人材です。

具体的には、地域の市民スポーツ大会、学校体育大会、国民体育大会、あるいは企業と協賛したスポーツイベントなどの運営に関するノウハウを持ち、それを実行、評価できる人材です。

スポーツ経営学科では、このような力を外部の団体とも協力して資格という形にし、その資格取得に向けた教育活動を展開して、最終的には学生が海外とのスポーツ交流イベントを企画、運営、実行できるよう計画しています。

この資格は、体育学と経営学をベースにしており、「実技」の指導を重点にしたこれまでのスポーツ系の資格とは異なります。今日の地域スポーツの状況を見渡すと、クラブの「運営」、「資金」の調達、スポーツイベントへの参加者増、「リーダーシップ」のありかたなどといった「経営」的な課題が多いことに気づかされます。そこで、本学のスポーツ経営学科において体育学と経営学の専門家が共存している特長を活かし、それぞれの専門性を融合させた「CSM」育成カリキュラムが開発されたのです(P.134)。学生諸君は、この図に沿って系統的に学習し、最終学年では、自分たちの手でスポーツイベントをやりきることが求められます。

2. 専門学習課程とテキスト

1、2年次では基礎学習課程、専門学習課程、演習課程(基礎演習・演習Ⅰ)、体験・インターンシップ課程の科目をバランス良く履修する必要があります。さらに、CSMを学ぶ上で中核となる専門学習課程を履修します。マネジメント分野、体育・スポーツ分野、マーケティング分野から8つの講義を単位取得することが資格取得の条件です。図の専門学習課程の欄を見ると、科目名(開講年次)が上段に示され、下段にその科目で扱う「CSM関連テーマ」が書かれています。

これらの講義のCSM関連テーマをわかりやすくまとめた本学独自のテキストがあります。丸善売店にて「体育・スポーツと経営 ―スポーツマネジメント教育の新展開―」(大野貴司・神谷拓・竹内治彦編著、ふくろう出版)を購入してください。

3. 実践的な学び～PBL課程～

3・4年次の「演習Ⅱ」・「演習Ⅲ」・「スポーツ経営演習」がPBL課程です。実践論の科目、外部団体による体育・スポーツイベントを関連づけて学習を進めるPBL推進科目を合わせて受講することで、理論と実践の融合をめざします。ここでは、これまでの学習や経験を土台にしつつ、自分たちで調べ、考え、活動する場面が多くなります。

「演習Ⅱ」・「演習Ⅲ」・「スポーツ経営演習」では、自分たちでスポーツイベントを企画、運営、総括することになります。特定のスポーツイベントを対象にして、ゼミ(演習)内でいくつかのテーマに分かれて研究や実践を進めたり、あるいは1つのスポーツイベントに複数のゼミが関わることもあるでしょう。

研究成果はゼミナール大会などで報告することになりますが、その評価は本学の教員と共に各種団体によって行われる予定です。毎年、研究成果を冊子にまとめ、年を追うごとにスポーツイベントの資料を蓄積していくと同時に、その質を高めていくことをめざします。

↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑

「地域スポーツマネジャー」資格認定

3 4 年次	PBL (Project Based Learning) 課程…演習Ⅱ (3年次・必修)、演習Ⅲ (4年次・必修) / スポーツ経営演習 (※注1)		E. 体験・インターンシップ課程…2単位	
	<p>課題……指定された大きなテーマを実現するためのプログラムを自ら企画、運営し、最後までやりきる。</p> <p>達成目標……与えられたテーマに対して、具体的な課題を自ら考えて、それを解決する。</p> <p>求められる力…責任感、企画力、実行力、コミュニケーション力、チームで働く力。</p>		<p>・課題…ジョブシャドローイング</p> <p>・達成目標…行事・仕事を運営者側の視点から見て、その苦労や努力を理解する。</p> <p>・求められる力…理解力</p> <p>【対象科目】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツボランティア (1年次) ② 2. ボランティアA (1年次) ② 3. ボランティアB (1年次) ② 4. 地域フィールドワーク (1年次) ② 5. インターンシップA<企業> (2年次) ② 6. インターンシップB<学校> (2年次) ② 7. 課外体育インターンシップ (※インターンシップC<課外体育>) (3年次) ② 	
	専門学習課程…3分野から必ず1科目以上単位取得の上、合計16単位	演習Ⅰ (2年次・必修) …4単位	演習Ⅱ (2年次・必修) …4単位	
	<p><マネジメント分野></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 企業経営の歴史 (2年次) ② 2. 経営戦略論 (2年次) ② 3. 経営会計 (2年次) ④ 4. 人材育成論 (3年次) ② 5. 国際経営論 (3年次) ② 6. 特別活動の研究 (2年次、教職) ② <p>〔経営理念〕</p> <p>〔経営戦略論とケース〕</p> <p>〔経営分析〕</p> <p>〔リーダーシップ〕</p> <p>〔企業国際展開とスポーツ用品企業〕</p> <p>〔学校の体育行事の指導論〕</p>	<p><マナー・スポーツ分野></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツ心理学 (2年次) ② 2. スポーツ史 (2年次) ② 3. 経営管理論 (2年次) ② 4. 生涯スポーツ論 (1年次) ② 5. 教育課程論 (2年次、教職) ② 6. 特別活動の研究 (2年次、教職) ② <p>〔スポーツにおけるモチベーション〕</p> <p>〔世界の最高峰に君臨するスポーツイベントの歴史と課題ーオリンピック大会を通してー〕</p> <p>〔生涯スポーツにおけるスポーツイベントの役割〕</p> <p>〔体育行事がもつ教育的価値〕</p> <p>〔対外試合の歴史と課題〕</p>	<p>・課題…自分の考えを論理的に説明し、プレゼンテーションができる。</p> <p>・達成目標…自分でわかりやすい資料を作成し、それをもとにプレゼンテーションができる。また、他者のプレゼンテーションの批評ができる…表現力、プレゼンテーションスキル、文章構成力。</p>	<p>・課題…自分の考えを整理し、主張することができる。</p> <p>・達成目標…基本的な読み、書き、コミュニケーションスキルを高める。</p> <p>・求められる力…</p> <p>パソコン検定(「パソコン検定協会」主催)、漢字検定(財団法人漢字能力検定協会)主催、現代経済検定(「岐阜経済大学」主催)に合格する力。</p>
	基礎学習課程…3分野から必ず1科目以上単位取得の上、経営学を含めて合計12単位	基礎演習 (1年次・必修) …4単位		
	<p>マネジメント分野</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツ経営論 (1年次・必修) ② 2. 経営と環境 (1年次) ② 3. 経営組織論 (2年次) ② 4. 体育経営管理論 (3年次) ② 	<p>マーケティング分野</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツマーケティング (2年次) ② 2. スポーツ産業論 (2年次) ② 3. レジャー産業論 (2年次) ② 4. 簿記Ⅰ (1年次) ④ 	<p>・課題…自分の考えを整理し、主張することができる。</p> <p>・達成目標…基本的な読み、書き、コミュニケーションスキルを高める。</p> <p>・求められる力…</p> <p>パソコン検定(「パソコン検定協会」主催)、漢字検定(財団法人漢字能力検定協会)主催、現代経済検定(「岐阜経済大学」主催)に合格する力。</p>	
1・2 年次	経営学 (1年次) ②…必修			

※○の数字は単位数を示す。

※基礎学習課程・専門学習課程は表中の3分野の各講義によって構成される。各分野の講義の中から選択して必要単位数を満たさなければならぬ。

なお、()内は「教職」は教職課程の科目、「」内は各科目で扱うキーワードである。

※2011年度までにレポート提出により認定された科目については、単位取得していても有効とする。

注1…演習Ⅱ、演習Ⅲ、スポーツ経営演習(「スポーツ経営演習」)の科目名で開講する。なお、PBLを実施しない演習Ⅱ及び演習Ⅲがあるため、事前に確認すること。

注2…2008・2009年度入学生は、「体験・インターンシップ課程」は免除とする。